１．使用者は本当は何をのぞんでいるか、知ろう

・**近隣との関係**　……　相互に補い合うことができるか
食事／娯楽／いやし　など

・**生活スタイルをはっきりと**……
自動車アクセスか、公共交通アクセスか

・**遠視？近視？**……　維持費か、投資費か

・**かっこよさか、合理主義か**……広さか、機能か

間の心は まごころ につながる。
心あるもてなしは喧騒と多忙で疲れた訪ね人達に
自然のなかに健やかに漂ういやしの安らぎをもたらし、
失ったかと思われた感性を再び取り戻させる。

視線は果てしなく景観をとらえ、天然の香りに浸され、
快い響きは耳に愉しく、豊かな幸に舌はおののき、
ふれる手触りが身体をはしる時、全てが心の琴線を鳴らす。

４．　金

富と力【経済発展】
【視】
金属【聴】

贅なる愉しみ

五感を澄ます空間

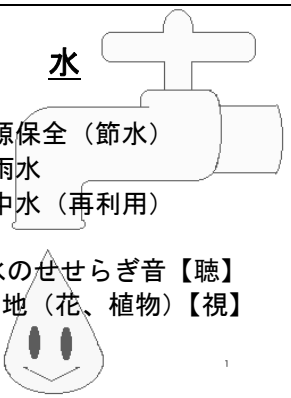
全ての期待と興奮は、この少しの間をはさんで存在する。
雨を待つ間、晴れを待つ間は心と身を休め、やすらぎのうちに
次にめぐり来るもっと大きな安心と満足を約束する。

恵みの雨は朝の夕に生物に潤を与える

水の恵み

雨水利用/循環（地下に環る）

５．　水



資源保全（節水）
雨水
中水（再利用）

水のせせらぎ音【聴】
湿地（花、植物）【視】

心を潤す場

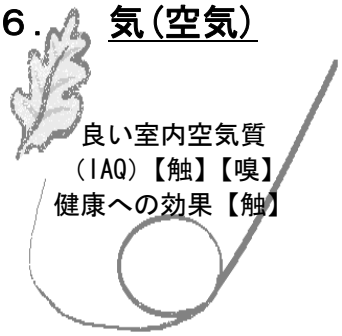
自然には間がある。
自然とは人の力を加えられないものである。
野を渡る風を待つ間は、初夏のひととき。

風の流れは人をなごます

風の恵み

自然換気

６．　気（空気）



良い室内空気質
（IAQ）【触】【嗅】
健康への効果【触】

自然の息吹を感じる場

２．良い結果をもたらすチームづくり

・人の意見に好奇心

・協力的、相手と代り合える、信頼ある関係を保つ

・自分で学べばよいチームメイトになれる

３．絶対条件を深く理解する

・気温は「きびしさ」の物指し

・気温変化を取り込む

・土は宝物

・太陽は日毎に決まった道をめぐる

・雨は魔物か、エンジェルか

・湿り気に要注意

・やさしい風と、きびしい風

・地震／雷／火事／風水害

４．環境に良い材料を選定しよう

・天候に合わせて衣装を決めよう
・長寿命はみんなの願い
・健康を害さない安全な材料は、
　　仕事をする人も住む人も歓迎する
・外人にあこがれるな
・万能ばさみを見つけよう
・どの人も何らか必ず役に立つ
・レゴのたのしみ
・美しいものへのこだわり

５．適正な設備システムを選ぶ

・能力を目一杯に生かそう

・身分相応に工夫する

・ドライな人とウェットな人とつきあう法

・風の心地よさを知る

・おいしい空気とあぶない空気にさらされて

・システム選びもＴＰＯ

・　こわすもいかすもアクセサリー

６．敷地や景観の恵みを手に入れる

・自然のきびしさからあなたを護ってくれる自然

・美しさに触れ、生態系のしきたりに従う

・おいしい果実を味わい、緑の広場に集い愉しむ

・生物の力に期待しよう

７．検査して維持しよう

・有毒ガスは、姿を見せず忍び寄る

・あなたの部屋の健康診断で安心を

・清潔に、健康に、快適に生きる

ケーススタディ：高知県中村市　（仮称）健康づくり情報交流センター

６つの基本要素（木、火、土、金、水、気）

建物をとりまく要素を自然と人間とのかかわりの中で６つの基本要素とする

１．　木 建築廃材（再使用）【触】 原生樹林 再生材 植樹（土地原生樹林、中国産樹（菜花･果実）による遮熱効果／防風効果／景観への寄与【視/嗅】 果樹【味】 瞑想の場	打ち捨てられたかの如き種々の素材は、 情ある使い手により眠りから覚め、 その地の恵みと共に、新しい時代を誇らかに演出する。 森の中に入ると樹々の霊が語り掛ける建物が微笑んでいる ***生態系との共生*** ***木、薬草、ハーブ、植生/パーマカルチャー***
２．　火 日射熱 昼光【視】 太陽光 （発電／温水） ガス 目にやさしい空間	かげった日射しを心待ちする間（ま）は、冬の日の昼下がり。 少しは遅かれと願う満月を待つ間（ま）は秋の夜長につながる。 自然は（太陽の）光となり、熱となって建物に生命をそそぐ ***火（陽）の恵み*** ***太陽光（昼光）取り入れ/太陽光利用（発電）/太陽熱利用（温水）***
3.　土（地球） 土地の岩石の利用 ガラス（再生），タイル（再生），プラスター，セメント， 土佐漆喰【視】 土から出るもの 有機栽培野菜【味】 薬草、ハーブ【嗅】【味】 畳表、和紙、麻、やし木綿【視】【触】 眺めて懐かしみ、 触れて和む空間	自然のゆらぎとうねりは、間と間をむすびつけ、 歴史や文化を再生し、厳しい気象を挑戦することなく受け入れ (パッシブ)、それを豊かなみのり(ニューテクノロジー)として創出させる。 土はその内なる魔力で建築を和らげる ***土の恵み*** ***アースチューブ/建築構造の配慮/建築断熱***

間の心は まごころ につながる。
心あるもてなしは喧騒と多忙で疲れた訪ね人達に
自然のなかに健やかに漂ういやしの安らぎをもたらし、
失ったかと思われた感性を再び取り戻させる。

視線は果てしなく景観をとらえ、天然の香りに浸され、
快い響きは耳に愉しく、豊かな幸に舌はおののき、
ふれる手触りが身体をはしる時、全てが心の琴線を鳴らす。

４．　金

富と力【経済発展】
【視】
金属【聴】

贅なる愉しみ

五感を澄ます空間

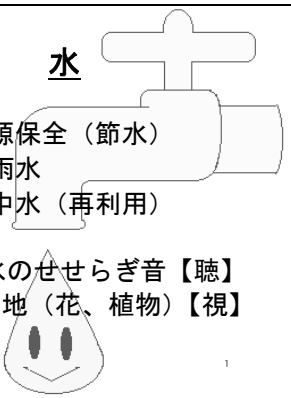
全ての期待と興奮は、この少しの間をはさんで存在する。
雨を待つ間、晴れを待つ間は心と身を休め、やすらぎのうちに
次にめぐり来るもっと大きな安心と満足を約束する。

恵みの雨は朝の夕に生物に潤を与える

水の恵み

雨水利用/循環（地下に環る）

５．　水



資源保全（節水）
雨水
中水（再利用）

水のせせらぎ音【聴】
湿地（花、植物）【視】

心を潤す場

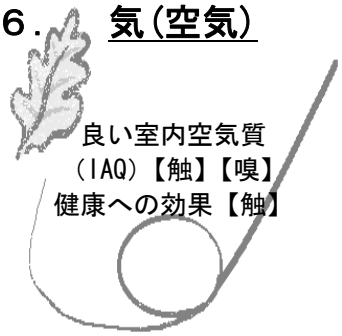
自然には間がある。
自然とは人の力を加えられないものである。
野を渡る風を待つ間は、初夏のひととき。

風の流れは人をなごます

風の恵み

自然換気

６．　気（空気）



良い室内空気質
（IAQ）【触】【嗅】
健康への効果【触】

自然の息吹を感じる場

ケーススタディ：高知県中村市　（仮称）健康づくり情報交流センター

テーマ　　間　の　心

自然には間（ま）がある。

自然とは人の力を加えられないものである。
野を渡る風を待つ間は、初夏のひととき。
かげった日射しを心待ちする間は、冬の日の昼下がり。
少しは遅かれと願う満月を待つ間は秋の夜長につながる。

全ての期待と興奮は、この少しの間をはさんで存在する。
雨を待つ間、晴れを待つ間は心と身を休め、やすらぎのうちに
次にめぐり来るもっと大きな安心と満足を約束する。

自然のゆらぎとうねりは、間と間をむすびつけ、
歴史や文化を再生し、厳しい気象を挑戦することなく受け入れ（パッシブ）、
それを豊かなみのり（ニューテクノロジー）として創出させる。
打ち捨てられたかの如き種々の素材は、情ある使い手により眠りから覚め、
その地の恵みと共に、新しい時代を誇らかに演出する。

間の心 は まごころ につながる。
心あるもてなしは喧騒と多忙で疲れた訪ね人達に
自然のなかに健やかに漂ういやしの安らぎをもたらし、
失ったかと思われた感性を再び取り戻させる。

視線は果てしなく景観をとらえ、天然の香りに浸され、
快い響きは耳に愉しく、豊かな幸に舌はおののき、
ふれる手触りが身体をはしる時、全てが心の琴線を鳴らす。